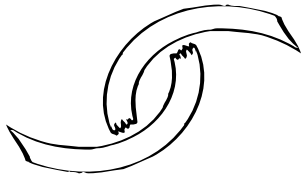


一人ひとりがそれぞれの個性や能力を活かし合い、共に生きる社会をつくるために



# 扉を開いて



北区男女共同参画推進ネットワーク会報

第92号

2026年3月27日

## ねっとわーくの活動

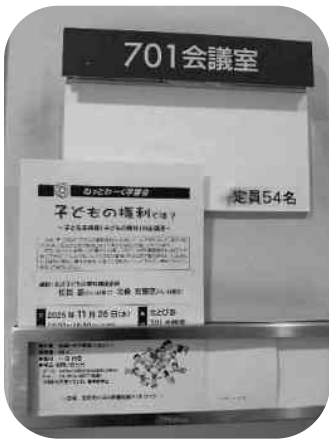
### 11月26日(水) 学習会「子どもの権利とは？」

～子ども未来課「子どもの権利」出前講座～



子ども未来課では「子どもの権利」について理解の普及、関係者との協力の推進を目的に、「子どもの権利」に関する出前講座を実施しています。『ねっとわーく』ではこの出前講座を、会員向けの学習会として開催しました。

(P6.に報告記事を掲載)



[右] 参考として展示されていた「こどものけんり なんでもやねん! すごくろく」。体験や貸出も行っている。



### 11月29日(土) 消費生活フェア2025 ～私たちの暮らしを大切に～

毎年恒例の「消費生活フェア」に参画しました。『ねっとわーく』の展示テーマは昨年から引き続き「防災」を扱い、「続・女性の視点から防災を考える」としました。その他にも、干し杏の販売やジェンダーチェックなどを行いました。(P6.に報告記事を掲載)



恒例のスタンプラリーも防災から出題

## 特集：「区議との懇談会」 ～災害対応を考える～

2月7日（土）午後2時～4時、スペースゆうの多目的室A・Bに於いて、今年度の「区議との懇談会」を開催しました。今回は「災害対応を考える」をテーマに、北区NPO・ボランティアぷらざの協力の元、災害対応カードゲーム「クロスロード ～市民編～」を行いながら、様々な問題について意見を交わしました。

### ●災害対応カードゲーム「クロスロード」って何？●

災害時には、どちらを選んでも何らかの犠牲を払わなければならないような想定外の「シレンマ」が同時多発し、さまざまな問題に直面します。

「クロスロード」は、阪神・淡路大震災等の災害時、実際に問題となった「災害対応のシレンマ」をカードゲーム化したもので、悩ましい災害対応を“自らの問題”としてアクティブに考えることができます。

北区NPO・ボランティアぷらざでは、無料でクロスロード講座を開催しています。関心のある方は、北区NPO・ボランティアぷらざにお問い合わせください。

※北区NPO・ボランティアぷらざでは、「神戸編・一般編」、「市民編」、「災害ボランティア編」の3種類を保有しています。「災害ボランティア編」の作成には、区内に事務所があるNPO法人日本ファーストエイドソサエティが携わっています。

#### ■特徴

①カードゲームを通じて、災害対応を自らの問題としてアクティブに考えることができるだけでなく、自分とは異なる意見・価値観の存在への気づきも得ることができます。

②防災に関する困難な意思決定状況を素材とすることによって、決定に必要な情報、前提条件についての理解を深めることができます。

#### ■クロスロードの目的

①災害対応を自らの問題として考え、また、様々な意見・価値観を参加者同士で共有すること。

②災害対応においては、必ずしも正解があるとは限らず、また、過去の事例が常に正解でないこともあるため、ゲームを通じて、それぞれの災害対応の場面で、誰もが誠実に考え対応すること、また、そのためには災害が起る前に考えておくことが重要であることを、気づくこと。

#### ■開発の経緯

①「クロスロード」は、大地震の被害軽減を目的に文部科学省が進める「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環で教材として開発されたもので、2004年7月に、最初となる「神戸編・一般編」が完成しました。

②「神戸編・一般編」は、同プロジェクトの中で実施した、阪神・淡路大震災において災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューの内容がもとになっており、実際の対応において神戸市職員が経験したシレンマの事例をカード化したものです。

③その後、「市民編」など様々なバリエーションが作成されています。

#### ■制作・著作：チームクロスロード

◆矢守克也（京都大学防災研究所 助教授）、◆吉川肇子（慶應義塾大学商学部 助教授）、◆網代剛（ゲームデザイナー）

### ●ゲームの進め方●

①グループのメンバーに、「Yes」「No」カードを配ります。

②問題カードを1枚取り、内容を読み上げます。

③問題に対して、各人が自分ならどうするかを決め、「Yes」「No」カードを裏返して置きます。

④裏返しておいたカードを一齐にオープンし、金・青の座布団を配布します。

・多数派は青座布団を獲得。

・一人だけの人がいる場合は、金座布団を獲得。

・それ以外の人は座布団をもらえません。

⑤それぞれの人が「Yes」「No」を選んだ理由を話し合います。（各2分）

⑥次の問題カードで、同様に②～⑤の手順を繰り返します。



北区NPO・ボランティアぷらざの職員が、ゲームの進め方を説明し、問題カードを読み上げて、それに沿って進行していました。



■当日のグループ構成（区議は敬称略。★印は、『ねっとわーく』会員の区議です。☑=会員、☒=運営委員）

さくら草	《区議》 渡辺かつひろ、山中りえ子	総務部長、☑3名、☒3名
紅梅	《区議》 加藤みき	多様性社会推進課長、☑4名、☒3名
菜の花	《区議》 青木のぶえ★	スペースゆう専門スタッフ、☑3名、☒3名
すみれ	《区議》 山崎たい子★、佐藤こと	NPO・ボランティアぷらざ職員、☑3名、☒3名

問題1

あなたは主婦。防災のため、風呂の残り湯を浴槽に貯めておくといいわれる。しかし、浴室がかびるかもしれないし、湯あかがつくと掃除が面倒。それに滅多に災害なんてこない。

それでも残り湯をためておく？

◆Yesの理由、メリット

- \* 断水が長期続くとき、飲み水の常備はしているが、水が無いと困るので貯めている。
- \* 風呂の水は何にでも使える。身体を拭いたり、火災時に使用するためにも貯めている。
- \* 生活習慣になっている。
- \* 掃除をすることは面倒と思わない。
- \* 節水の点でも、1日くらいは貯めておいても良いと思う。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* マンションでは、漏水が発生する可能性があるのでは水は流せない。
- \* 私も貯めておくが、湯垢がついて不衛生ではある。
- \* ため置きの残り湯は菌が繁殖する。

◇Noの理由、メリット

- \* マンションの高層階に住んでいる。配管が破損しているかもしれないので水は流せないと言われた。東日本大震災後、残り湯は貯めないことにした。
- \* 小さい子どもがいるので濡れると怖いので溜めない。
- \* 1人暮らしなので、きれいにしておくため、溜めない。
- \* 掃除しやすい。
- \* 衛生上ため置きはよくない。飲料水にも使えない。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 災害の時に水が使えない。

問題2

あなたは30歳代の夫婦。ようやく手に入れた新築マンション。何度もショールームに通って吟味したインテリアに二人とも大満足。しかし、大地震がきたら家具が倒れるかもしれない。

恰好は悪いが耐震金具を家具につける？

◆Yesの理由、メリット

- \* 東日本大震災の経験から、安全が第一。突っ張り棒、家具、食器棚にストッパーを取り付けている。耐震家具を使用している。（震災時 食器棚のガラスが割れて食器が全滅などの経験から）
- \* そもそも揺れると怖いので大きな家具は買わない、買ったなら付ける。
- \* 揺れで中のものが飛び出すのが嫌なので付ける。
- \* 命が大事なので付ける。
- \* マンションの上層階に行くほど揺れが怖いので付ける。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 高級な家具に傷がつく。\* 見栄えが悪い。
- \* 地震の程度や揺れ方によっては効果がない場合があるので、過信してはいけない。

◇Noの理由、メリット

- \* 家具には金具を付けないで、壁と天井の隙間を開けないよう置けば倒れない。（例：段ボールなどで隙間を埋める）
- \* 大切な家具なので、傷つけない。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 地震で倒れてきたら、家具の下敷きになる。



問題3

あなたは市民。頻発する地震が心配になって地震保険（保険金1千万円）に入ろうかと調べてみた。火災保険に加えてさらに「年間約3万5000円を払わなければならないという。

それでも地震保険に加入する？

◆Yesの理由、メリット

- \* 盗難の経験があるため加入している。
- \* 東日本大震災の時、地震保険が下りたので加入する。
- \* 保険に入っていれば、地震がおきた時に、そのお金で家を直せる。
- \* 年間3万5000円は日数で計算をすると、安いので入っておく。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 保険に入っていれば地震がおきた場合1千万円あれば直せるが、入っていないと、地震がおきた場合1千万円用意できるか？と思う。
- \* 掛け金が高い。
- \* 更新時の手続きが面倒。

◇Noの理由、メリット

- \* 収入が低いので、火災保険プラス年間3万5000円は高すぎる。
- \* 東日本大震災以降、家を耐震補強し、地震対策している。小さな保険を備えている。
- \* 賃貸住宅なので、保険金1千万円は不要。その分病気やけがに備えた保険をかけたい。
- \* 終活を考える年齢になった。多少の貯金があれば少々物がなくなっても構わないし、増えすぎた荷物が片付く。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 保険会社によって地震対応が付いていないものもある。
- \* 何かが起きたときに掛金では足りず、後悔する。

問題6

あなたは市民。大きな地震のため、避難所（小学校体育館）に避難しなければならない。しかし、家族同然の飼犬“もも”（ゴールデンレトリバー、メス3歳）がいる。

一緒に避難所に連れて行く？

◆Yesの理由、メリット

- \* 飼犬は家族同然（飼っている責任）、とりあえず避難場所に連れていく。預ける場所が無ければ連れて帰る。
- \* 車中でペットと過ごす。
- \* ペットはかわいいで、迷惑になると思うが連れて行く。
- \* 「ペットは家族の一員」という声をよく聞く。ペットが居られるスペースを避難所に作ることも必要。
- \* 北区は、避難場所（の屋外）にペットを連れて行っても良い事になっている。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 大きなペットはケージに入らないので連れて行くのも、どうなのか？
- \* 飼っている人も緊急アラームが鳴ることをペットに嗅げている人もいる。
- \* アレルギーの人がいたり、吠えたりもあるだろうし、避難所では迷惑をかけることもある。
- \* 動物可の避難所であるかどうかが問題。

◇Noの理由、メリット

- \* 人命を優先したい。
- \* 犬・猫のアレルギーが多い。アナフィラキシーショックを起こしたら対応できない。
- \* 避難所に入らない方が良い。
- \* 大きい犬は、自宅に部屋があれば置いていく。
- \* 落ち着いてから、迎えに行く。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 本人もペットもストレスになると思う。

問題7

あなたは市民。今、大地震の被災地で、救援活動のためのボランティア保険の費用（約700円）を、被災地の自治体が払うのか、ボランティア本人が払うのかで、もめている。

自治体負担の意見に賛成する？

◆Yesの理由、メリット

- \* 災害時にボランティア要請を優先するなら、自治体で負担した方がよい。
- \* 700円位なら、自治体が払ってよい。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 被災した自治体に、それを負担できる資金があるのか。

◇Noの理由、メリット

- \* ボランティアで救援活動に参加する時、自分の事は自分で準備して活動するのが基本。災害時に行く時、トイレまで持参すると聞いた。
- \* 災害で困っている自治体に、保険費用を出させるのは忍びない。
- \* ボランティアはボランティア保険に入ることが、原則。それは自分の身を守るためだし、ボランティアは自分の意思で行うもの。自立が必要。

◇Noの問題点、デメリット

- \* ボランティア保険に財源を使うなら、ボランティア活動に入ったときの保険料を半分にされた方がよい。
- \* ボランティアでも責任は問われる。お金の負担までするのか。

問題4

あなたは川沿いの集落の住民。母（65歳）、妻、小学生の子ども2人の4人で留守番中。激しい雨が降り続けている。今、洪水の危険があるとして集落に避難勧告が出たことを防災無線で知った。しかし、現在深夜12時。

今すぐ避難を始める？

◆Yesの理由、メリット

- \* 65歳ならまだ歩ける。母と子どもを連れて避難する。
- \* 避難勧告が出た場合、どんどん洪水が下流に流れてくる。実際そうなるとは限らないが早く避難する。
- \* 高齢者や子どももいるので、安全を考えて避難する。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 暗闇なので、前に何かがあるか（マンホールの蓋が開いているかも？）確認する。
- \* ぬかるみに足を取られることもあるため、深夜、安全に避難出来るかどうか判断に迷う。

◇Noの理由、メリット

- \* 夜間危険だし、避難勧告なので様子を見たい。
- \* 最近テレビで暗いうちは動かないで、安全な場所に待機した方がよい、明るくなってから行動するようになっているから深夜の移動は、危険がある。
- \* 地震で停電になり街灯がついていないと、真っ暗だ。そういう場合には、移動は危険だ。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 激しい雨の深夜に 妻一人で、65歳の母と小学生2人を連れて逃げられない。
- \* 水門の近くに住んでいるので、高台にも行けないし、近くのマンションや近所で大丈夫な家にも？どっちにしてもどこにも行けない。

問題5

あなたは父親（一般企業の課長）。会社にいる。地震直後。交通は完全にマヒ。家族と連絡がとれず、安否が気になるが、上司として部下の安全の確保をまず優先すべき責任もある。

自分の仕事を優先するか、帰宅して家族の安否を確認するか？

◆Yesの理由、メリット

- \* 直ぐに帰るのは危険でもあり、部下への責任もあるので、職場にとどまる。
- \* 家族間で普段から災害時の連絡方法を話し合っている。
- \* 責任というより自分の身近な方から、家族は家族で避難していると思う。
- \* 勤務先でも動くなということで、仕事に生きるというより、動かない方がよい。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 家に家族が居るかどうかによるし、その時の状況による。
- \* 家族がどうしているか気になる。

◇Noの理由、メリット

- \* 家族の事が心配。会社の事は心配ないので帰る。
- \* 家族の安否確認が第一と思う。
- \* 部下が亡くなったという情報が無ければ、帰宅したい。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 家族間での話し合いがあれば安心できるが、それが無いと心配になる。
- \* 会社の人間関係が重要。上司との信頼関係にヒビが入る。

問題9

あなたは被災者。地震で自宅は半壊状態、家族そろって避難所へ。ただ日頃の備えが幸いして、非常持ち出し袋には水も食料も3日分はある。一方避難所には水も食料も持たない家族多数。  
その前で非常持ち出し袋を開ける？

◆Yesの理由、メリット

- \* 東京なら避難所にすぐ援助物品が届くと思うので、非常持ち出し袋を開ける。
- \* 非常持ち出し袋を開けず我慢するのは難しい。
- \* 避難所へ行ったら、皆で有るものを共有する。
- \* 自分が避難民であったらと考えると分けてほしい。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 正直な気持ちでは家族を優先して、非常食を利用したい。
- \* 非常袋を開けるには、自分がいい人になろうと思う事を捨てないと出来ない。
- \* 周囲を気にする。見せびらかすことになる。
- \* どこまで分けるかの判断が難しいので、開けるのは無理。
- \* 分けなかった時、後で後悔すると思う。

◇Noの理由、メリット

- \* 避難してきている人達から多少離れたところで開けて利用したい。
- \* 皆に分けることは出来ないから。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 本当は皆に分けたいが、限られた分しかない。
- \* 開けなければ、誰も食べることは出来ない。

問題10

あなたは母親。大地震後、小学校へ行っている我が子を迎えに行くが、途中で人が生き埋めになっているのを発見。他に人はいない。しかし、我が子も気になる。  
まず目の前の人を助ける？

◆Yesの理由、メリット

- \* 子どもは学校にいるのが一番安全。待たせても大丈夫。生き埋めになっている人がいたら助ける。
- \* 生き埋めになっている人を見捨てるような母親だと思われたくない。
- \* 校庭が避難場所になっているので、大丈夫。
- \* 子どもが死にそうだという訳ではないので、目の前の人を見捨てない。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 助けられないことも考えられる。やってみなければわからない。助けを呼ぶ。
- \* 学校の立地による。川や海、山のそばなら、子どもが心配（大川小学校を思い出す）。
- \* 助けなかったことへの自責の念を引きずる。

◇Noの理由、メリット

- \* 1人では生き埋めの人には助けられない。
- \* 状況により（余震があるかも？二次災害になるから？）助けられない。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 後々のトラウマになると思う。



問題10

あなたは被災者。地震から7日。避難所（小学校体育館）に避難中。電気だけは復旧し、何とか自宅に戻れる状況になったが、祖母（70歳）の体調が悪い。避難所ならば24時間医師が詰めているが、自宅は遠く不便。  
自宅に戻る？

◆Yesの理由、メリット

- \* 自宅に戻れる状態なら 高齢者は自宅の方がゆっくり落ち着けるのではないか。
- \* 高齢者は慣れない避難所にいるとストレスが貯まるから、自宅の方がよい。

◆Yesの問題点、デメリット

- \* 医師が身近にいないのは、心配。

◇Noの理由、メリット

- \* 電気だけの復旧なら まだ帰るのは難しい。良くなってから帰った方がよい。
- \* 避難所の方が医師もいるし、色々な面で祖母には良いと思う。
- \* 福祉避難所が開設されるならその方が安心。

◇Noの問題点、デメリット

- \* 医師は24時間いても、常備している薬は少ないのでは。

当日は4つのグループで、それぞれ15枚の問題カードを使ってゲームを行いました。紙面に限りがあるため、残念ながら10問の回答からの抜粋を、グループ分けせずに掲載させていただきました。

※掲載にあたって、一部、編集しているものもあります。

●参加者アンケートから●

- 楽しかったです。もう少しゆっくり議論してみたい。
- いろいろな意見があり、興味深かった。
- Yes/Noの中でも理由を聞くことと真逆の理由だったりして、状況によって考え方は変わると気付かされた。
- 皆さんのご意見や色々な考え方に触れられ勉強になりました。
- 状況を想像して考えることが想像以上に大変だった。
- 具体的なケースでどうするかを考えて、いろいろな方の意見を伺うことができてよかったです。
- Yes/Noそれぞれの意見に納得、色々と考えさせられました。1つ1つの設問も短くテンポ良く進むため、みんな短く簡潔に答えられて良かったです。
- また他のものもやってみたいです。ありがとうございました。
- 災害時はとっさに判断しなければいけないことがたくさんあることがよくわかってよかったです。正しい判断ができるかはわからないが、心構えができてよかったです。
- お風呂のお湯をどうするかから、我が子を迎えに行くよりも人助けを優先するかまで幅広く判断される問いに、真剣に悩みました。
- 判断に苦しい問題もあったが、中々面白い企画でした。
- 「短時間で答えを出すのはむずかしい」と感じました。
- シミュレーションは、日常すべきと思った。
- 楽しかった。
- 案外意見の相違があり、大変気付きの多いゲームであったため楽しいイベントでもありました。
- さまざまな場面・立場を想定してどう考えるかをシミュレーションすることは心構えとしてもいざという時の役に立つと思われませう。
- Yesか、Noかの判断は難しいが、皆さんの意見が参考になった。
- 色々な立場・年齢の方々と一緒にできて、自分と違う意見を聞いた。災害のことは何度学んでも足りないの、貴重な機会でした。

## ねっとわーく学習会「子どもの権利とは？」

青柳 あけみ

初冬の少し肌寒くなってきた、11月26日(水) 14時〜15時30分、北とぴあ701会議室にて、ねっとわーく学習会として、子ども未来課「子どもの権利」出前講座を開催しました。

講師は、北区子ども権利擁護委員の弁護士、佐賀 豪さんが来てくださいました。佐賀さん、担当職員の皆様、ご協力ありがとうございました。

「子どもの権利」や「子どもの権利条約」「北区子どもの権利と幸せに関する条例」に基づき取り組みについてクイズを交えて学び良い機会でした。参加者の皆さんの感想などを紹介いたします。

・「子どもの権利」「子どもの権利と幸せに関する条例」について、初めて考える機会を得ました。権利擁護委員の存在も知りませんでした。区内の現状、課題が良くわかりました。子どもたちが相談すること、それを改善することの難しさを感じました。

・当たり前前の生活を知ることが保護を求める第一歩になった、というのは心に残りました。

・そもそも権利擁護委員という存在を知らなかったし、北区では、お二人のみで活動していることも初めて知りました。熱心に活動してくださる方がいて安心しました。

・近隣小中学校の職員向け、子ども向けの研修、学びを拡大して欲しいと感じました。地域団体からも学習できるように、務めたいと思っています。

・「異文化感受性発達モデル」については、相手の状況を把握して、話し合いに臨まなければ、確かに話がまとまらない。教育と福祉の関係、話がかみ合わないのは困ったものです。子どもたちが自分のおかれている状況を把握すること、あたりまえの事、何が自分にとって良いことなのか、感じるためには、やはり子どもが身をもって感じて知る**ことが重要**。

ご感想ありがとうございました。



## 第53回 北区消費生活フェア

田邊 みつ子

11月29日(土)に北とぴあ飛鳥ホールで開催されました。行政関連を含めた10団体が参加しました。

『ねっとわーく』は「続・女性の視点から防災を考える」をテーマに企画しました。展示物にて地震が発生して避難所を女性の視点で運営する時の重要なことを訴えました。北区も2024年3月に地域防災計画を改定しました。

また、スタンプリリーで防災グッズの定期的な確認と、ローリングストックを啓蒙しました。

その他にジェンダーチェック、杏・手作り小物の販売を行いました。ジェンダーチェックでは、初めての試みで内閣府男女共同参画局の公表している「無意識の思い込みチェックシート」を利用しました。回答された49人の集計結果から、男性はほとんどが男性優位の考えなのだと実感しました。

恒例の来年の干支・午を中心とした手作り小物や、災害・断水時使用のトイレグッズ等の販売も好評でした。毎年これらの購入を目当てに来られる方もいます。杏も干支の置物も売れました。消費者カレベルアップ講座が午前、午後開催されましたが聴講者が少なかったのが残念でした。

来場された方々からは「毎回楽しみにしてきている。毎年とても良い企画です。スタンプリリーをやりながら学べるので良かったです。ここで学んだことを復習したい。以前はファッシュショールがあり良かったので、またあると嬉しい。」等の感想が寄せられました。

参加団体は少ないのですが、賢い消費者になることと、地域の方々の繋がりを大切にするために続けていく意義があると思います。



## デートDVチェッカー（暴力定規）

我妻澄江（おすすめ図書、映画とも）

滝野川地域で、「子ども食堂」や「学習支援教室（無料）」、「中高生の居場所事業」などの活動をしています。会員には大学教員もいて、授業で使う「デートDVチェッカー」を分けてもらいました（「Witherセシル」提供）。

このチェッカーは2019年にパリ市で開発され、定規として中高生に無償配布しているもの。フランス在住の安發明子さん（あわ あきこ）、フランス子ども家庭福祉研究者）の紹介で、日本語版が作られました。「良好な関係」を表す緑色から「警戒ゾーン」の黄色、「危険ゾーン」の赤色まで、具体的な行動が色づけされていて、裏面には「同意」の説明や相談窓口が印刷されています。DV家庭で育ったなど生育環境の影響もあり、DV被害者の多くは自分がDV被害者だと気付いていません。なので、このチェッカーで具体的な行動から客観的に判断できるのが、画期的。

利用法としては、うちに来ていてる高校生やお手伝いの学生さん達に「デートDVって、知ってる？」と声をかけ、DV自体を「初めて聞いた」という人には「DV」の説明から。「授業で習った」という生徒には、チェッカーを手に説明してから、「トリセツ」と一緒に渡しています。男子高校生が「俺は、こんなことはない」と、女子高校生と気軽に話しているのを見て、「こういうものが身近にあることの重要性を感じました。」

**楽しんで!**  
(良好な関係)

**警戒領域、ストップ!**  
(これは悪化)

**助けを求め身を守って**  
(危険な状況)

0	あなたがしたいことを大切に
1	あなたの友達や家族も大切に
2	あなたのことを信用している
3	あなたが自由になっていることを喜んでいる
4	2人ですることについては、必ずあなたにも了解をとる
5	キゲンが悪くなると無視する
6	あなたが言うことをきかないと脅したり、非難したりする
7	あなたのことをバカにする
8	ほかの人の前でバカにした態度をする
9	あなたのことを何でもコントロールしようとする
10	あなたの行動を束縛する
11	あなたの交友関係や服装に文句をつける
12	メールやアプリを見ようとしたり見せると言う
13	裸や下着の写真を送るよう求める
14	あなたを友達や家族と距離を置かせる
15	自分の非を認めない、あなたの方が悪いと言う(反対意見を言うとバカにする)
16	気に入らないことがあるとキレる
17	身体を押しついたり、引っ張ったり、ゆすったり、叩いたりする
18	あなたのせいで自分が自殺するなどと言う
19	同意なくあなたの体を触る
20	あなたの裸や下着の写真を他人に見せると脅す
21	ポルノ動画を見るよう強要する
22	セックスを強要する
23	

### ◆おすすめ図書

#### 『フランスの子どもの育ちと家族』

安發明子著 2023年8月 かもがわ出版

読んでいて、「そうそう、こういう福祉政策（制度）がほしいの！」と感動。例えば、妊娠・出産については、避妊・人工妊娠中絶・体外受精・妊婦健診・出産・無痛分娩は、全て無料。出産して退院すると、1日おきの助産師訪問。その後、公的センターに引き継がれ、予約や保険証なしで無料で通える。医療や心理の専門家がいて、親子それぞれを支える。保育は、多くが自宅で預かる小規模保育で、保活や待機児はない。役所に保育の希望伝えるだけで、申請書は不要。妊娠届を医師が書いた時点で自動的に情報が役所にいく。

まず、親が一人の人間として幸せであることを重視し、子どもの行動については、赤ん坊であっても、子どもに直接語りかけなど、なるほどと思えることが沢山詰まっている。

### ◆おすすめ映画

#### 『シモーヌ』

フランスに最も愛された政治家〜 2021年製作 フランス 140分

フランスのこうした家庭福祉分野の政策は、シモーヌ・ヴェイユ（1927〜2017）に依るところが大きい。アウシュビッツを生き抜き、その能力と情熱の結果として選挙を経ずに保健大臣になった人で、これは、このフランスで最も有名かつ人気の女性政治家の伝記映画。2022年フランス国内映画年間興行収入が1位だったそとだ。

望まない妊娠をした女性の中絶法制定のために尽くし、移民やエイズ患者のために奔走。男性ばかりの議会で「ユダヤ女」と罵倒されても屈せず、EU議会の議長にまでなった。国際平和のために活動することが自分が被った理不尽なことと折り合い、自分の生きる意味だという生き方に感動した。



## 2026ねっとわーくまつり

5月23日（土） 午後1時～4時30分  
 24日（日） 午前10時～午後4時  
 北とびあ 5階 スペースゆう（北区男女共同参画活動拠点施設）&6階

### ●講演会 入場無料

「もし明日、私が被災したら？  
 ～大災害の現場から見た、命と暮らしを守るヒント～」

23日（土） 午後2時～4時（午後1時40分開場）

6階 ドームホール

講師：岡野谷 純さん

（NPO法人JFAS 代表理事、医学博士、救急救命士）

### ●活動紹介&ステージ発表 入場無料

24日（日） 午前10時～12時 6階 ドームホール

『ねっとわーく』団体会員の活動紹介とステージ発表

### ●映画上映会

「Viva Niki タロット・ガーデンへの道」 チケット前売あり

24日（日） 午後2時～3時20分（午後1時40分開場）

6階 ドームホール

#### ◆料金（前売・当日共通）

一般 1,200円

『ねっとわーく』会員 1,000円

子ども 500円（小中高校生）

※一般向けの販売は、4月20日からになります。

### ●体験・販売コーナー（体験コーナーは24日のみ）

23日（土）・24日（日）

5階 スペースゆう 多目的室A・B&6階 ロビー

### ■パネル展示

5月9日（土）～24日（日）

6階 ドームホール壁面

## 第32回定期総会のご案内

『ねっとわーく』定期総会の日程は下記の通りです。

### ●第32回 定期総会

5月23日（土）

午前10時～11時

北とびあ6階 ドームホール

会員向けの案内は、4月中旬に発送予定です。出欠のご連絡はお早めにお忘れなくお送りください。

総会資料は、5月中旬に発送予定です。総会にご来場の際は忘れなくご持参ください。

### ●会員交流会

午前11時20分～午後12時30分

北とびあ5階 スペースゆう

多目的室A・B

◇会費：1,500円



### \*編\*集\*後\*記\*

3月は様々な締め括りの月、別れと出会いの月でもある。一番多い報道が3.11や元日の震災に関する報道。特に子どもたちが言葉少なに頑張ってきている姿に涙する。

今年度も防災をテーマに懇談会やイベント展示等で活動をアピールできたと思う！！

（眞庭）

編集：広報部 横田 正基  
 桑田 美佳 眞庭 成子

会報「扉を開いて」第92号

発行日：2026年3月27日

発行：北区男女共同参画推進ネットワーク

代表 大塚 麻子

ホームページ：http://kitakudanjo.tokyo/

メールアドレス：network@kitakudanjo.tokyo

印刷所：（有）青雲堂印刷



次号は2026年7月に発行予定です。

・現在会員数 団体23、個人62名、賛助1名